

開局に向けて番組の進め方などを確認する市民パソナリティーたち



災害時活用にも期待

町村など限られた範囲で地元の情報や災害に関する情報を放送する。阪神・淡路

「内輪の話にならず、常にリスナーを意識して」
28日、倭町にある市アンテナショップ「コエド市場」内のサテライトスタジオ。開局を目前に控え、番組の進行を担う市民パソナリティーの研修で、講師の女性はこの注意を促した。

夫の勤めで応募したという樋ノ口町、主婦塚本麗奈さん(34)は「最初は発声練習からたまたま、今は不安よりも楽しみな気持ちで強い」と開局を心待ちにする。

コミュニティFMは市

3日開局へ最後の確認

栃木・県内初コミュニティFM

【栃木】県内初のコミュニティFM「とちぎシティエフエム」(愛称・FMくらら85.5)が11月3日に開局する。施設整備は市が行い、運営はケールテレビ(樋ノ口町)が行う公設民営方式で、地元密着の情報を届けると同時に、災害発生時は市内の被害状況を瞬時に伝える手段として期待されている。現在、公募で選ばれた市民パソナリティーらが番組の進め方などを入念に確認するなど、最終段階の準備に追われている。

(吉田隆則)

地元密着の情報発信

大震災以降、非常時の情報伝達手段として全国で開局が相次ぎ、現時点では本県以外の全都道府県で放送局が開設されている。

同局の周波数は85.5MHz。番組は毎日午前7時から午後9時まで放送で「栃木市をハッピーに」がコンセプトだ。大学生から70歳までの市民パソナリティー約20人が音楽やトーク、協賛店舗へのリポートを中心に番組を進行する。午前9時から午後5時(金曜のみ午後7時)はサテライトスタジオから放送する。

同社コンテンツ部の大川進課長(43)は「一般の周波数にちなんで午前8時57分に放送を開始する。」

11月1日には午前11時から午後2時まで、同スタジオで市民向けの内覧会が開かれる。3日は同スタジオでのセレモニーの後、周波数にちなんで午前8時57分に放送を開始する。

「はなが、栃木市の今を伝えることにこだわっている。有益な情報を発信し、市民のそばに寄り添いたい」と話している。